

経営者の想いを汲み、実現可能な経営革新計画作成 支援と販路拡大支援

支援の ポイント

- ①長期間の製品開発に苦悩する経営者を励ましながらか支援継続
- ②計画作成と並行した事業実現に精通した専門家を選定
- ③経営者の信念を尊重して事業実現へ並走支援
- ④成果創出にとどまらず更なる事業拡大へフォローアップ支援

支援の経緯

支援企業は、岩手県久慈市で大正11年から薬局を営む老舗企業である。法人設立は平成2年、現在は三代目
が事業承継している。創業以来、医薬品の販売を中心に行ってきたが、院外処方が増加する時期に合わせて調
剤薬局となり、市内で3店舗を経営している。

近年は薬局の経営が厳しさを増している中、店頭での医薬品販売と院外処方の投薬だけでは限界があると感じ
た代表者は、女性向けフィットネスクラブや介護用品レンタル事業に進出し事業の多角化を実施して成果を
上げてきている。そして新たな事業展開として、健康管理を意識した食事提案を行うことを目的としたおから
を使ったパン「おからん」の開発・販売を行うことを決断した。

岡子ネットワークアドバイザーとの出会いは平成21年4月に地域力連携拠点事業による久慈商工会議所窓
口相談会に遡る。相談会へ出向いた代表者は、経営革新計画の承認について岡NWアドバイザーに相談した。岡
NWアドバイザーは支援開始にあたって、複数回ヒアリングを行いこのおからパン開発事業が経営革新に該当す
ると判断し、経営革新計画作成のために専門家派遣を行うことを決めた。

「日本一低カロリー」で美味しいおからパンの開発を山形大学工学部との共同研究という形で着手したが、
理想とする食感まで完成するには膨大な時間を費やすこととなった。この間、実現可能な計画を作成すること
もあって岡NWアドバイザーも支援機関との話し合いを重ねて課題の整理などをおこない後方支援を続けた。

支援のプロセス

山形大学での商品開発から岩手県立大学との三者による共同開発に発展し、平成23年4月ついに低カロリー
おからパン「おからん」が完成した。代表者は改めて久慈商工会議所を通し盛岡商工会議所に相談を持ちかけ、
実現が見えた経営革新計画の作成支援と計画実行支援を依頼することとなった。

久慈商工会議所を通じて代表者から相談を受けた盛岡商工会議所の経営
指導員である南部寛氏は、当初から支援を行っていた岡NWアドバイザーに
相談し、当事業での支援を開始することとなった。初期対応にあたり、岡
NWアドバイザーは再度代表者から現状と今後の構想について丁寧に聞き取
りを行った。実現可能性を重視する岩手県の経営革新計画の承認及び並行
しておからパンの販売実現そして支援策活用項目の検討という実行支援を
見据えて、岡NWアドバイザーは県内事情に精通し、食品製造業などの支援
を得意とする専門家を選定した。

改めて当事業での専門家派遣を提案された代表者は、経営革新計画作成
とその計画実現による地元での雇用創出に向け事業を進めていくことを決
意した。



低カロリーおからパン「おからん」

当事業活用による専門家派遣は、以前に作成した経営革新計画のブラッシュアップという形で行われていった。また「地元雇用を創造するには自社で製造をする」という代表者の強い信念を具現化するため、計画にも自社工場での製造という方向が強く盛り込まれていった。

計画作成と並行して、平成23年6月には久慈市内で廃業したベーカリーを借り上げ、おからパンの製造がスタートした。計画完成前に製造をスタートしたのは、東日本大震災で雇用環境が悪化していたことが大きく、できるだけ早期に実現したいという代表者の強い思いがあったからである。

こうしておからパン製造のために社内から2名、新規で5名が採用された。新規採用された5名は初日の挨拶で全員が感謝の気持ちで泣いていたとのことである。

専門家からは計画作成のアドバイスのみならず、食品製造のアドバイスや販路拡大のためのマーケティング指導も行われ、岡NWアドバイザーからも代表者への定期訪問による継続的な相談対応が行われていった。

そして工場スタートから約4ヶ月、本製品確定のための試行錯誤を繰り返していたが、販売可能な製品が供給可能と判断されたため、平成23年10月末に久慈市内結婚式場で「おからん」発売記念を兼ねたランチコンサートを開催してPRを図り、翌日から本格販売が始まった。

販売については、支援企業の薬局3店舗での販売とインターネットによる独自の通信販売を行っている。薬局での地元女性顧客を中心とした対面販売と地元以外にも販路を広げる通信販売は好調に推移しており、現在の借り上げ工場では注文に追いつかない状態が続いている。

経営革新計画については、製造が開始され販売が実現したこともあってその実情に沿った内容でブラッシュアップされていたが平成24年1月に「低カロリーおからパンの製造及び販売の事業化」というテーマで承認を受けた。



岩手日報に掲載された「おからん」記事

フォローアップ活動

支援企業では「おからん」のラインナップ拡大のため、助成金「いわて希望ファンド地域活性化支援事業（経営革新枠）」の活用を検討しており岡NWアドバイザーがフォローアップ支援を行っている。また、経営革新計画に盛り込まれている新工場の建設についても検討が始まっており、今後本格的な工場運営を見据えた専門的人材による支援ニーズも発生しており、盛岡商工会議所と久慈商工会議所の連携による組織的な支援も行われていくものと思われる。

支援企業に対する更なる課題解決のための継続的支援が続けられていくこととなる。

OJTについて

支援機関である盛岡商工会議所は、巡回する岡NWアドバイザーと非常に密な連携体制を取っている。南部経営指導員だけではなく、担当する経営指導員は岡NWアドバイザーの窓口相談や支援企業との討議にはできるかぎり帯同してそのノウハウを吸収している。

岡NWアドバイザーが作成した報告書については関係部署内で回覧し、情報の共有化が図られている。また随時ミーティングをおこない岡NWアドバイザーから支援企業別に支援経過状況や支援のポイントの説明がなされている。

このようなことが必然的に支援企業に対するスムーズなフォローアップにつながり、効果的なOJTとなっていると考えられる。



支援企業代表者(左)と岡NWアドバイザー